

## 1 単元 「小説家になろう～『走れメロス』から学ぶ登場人物設定の極意～」

## 2 指導観

- 文学作品を含む様々なコンテンツを、インターネットを介して誰もが自由に発信することのできる時代が到来して久しい。ある哲学者が「読書は心豊かな人をつくる」という言葉をのこしたが、市井に様々なコンテンツが溢れかえる昨今、その価値を見極めるための目を養う必要がある。

本単元は、自作小説の登場人物を設定するための視点を『走れメロス』から見出す活動を通して、作品の価値を大きく左右する登場人物の言動や人物像に関わる微細な表現を読みとることができるようになることをねらいとする。学習内容としては、登場人物の設定方法、人物像の描写の工夫、物語の主題、人物像の描写との関連性、登場人物が担う役割、脇役が作品に与える影響、魅力的な登場人物像、読者の視点、人物描写の工夫などがある。このような学習内容から、生徒は小説における登場人物設定には作者の明確な意図が反映されていることに気づくことができる。また、登場人物の言動や行動描写に着目して読むことで、作品の価値に迫る新たな視点を獲得することができる。したがって、本単元を学習することは、小説を読む際の新たな視点として、登場人物の言動や行動描写、さらには登場人物そのものの設定にも着目することで、「心豊かな人をつくる」読書生活を実現可能なものにできるという点において、大変意義深いと考える。

- 本学級の生徒は、第2学年5月に、『ポテトスープが大好きな猫』を読み解く学習を通して、心内語をはじめとする表現の工夫に着目することで、文学作品の価値を見出せることを学習している。事前のアンケートで、小説（物語文を含む）を読み解く上で大切だと思う視点を複数選択させる設問では、「心情に関わる描写（心内語を含む）」を選択した回答が〇%と最も高く、続いて「作品が作られた背景」が〇%であった。「中心人物の人物像」は〇%であり、「その他の登場人物の人物像」を選択した生徒はいなかった。また、自身が好きだと思う小説（物語文を含む）の、好きだと思う理由を問う設問では、「読者を引き込むストーリーが魅力的」や「内容に共感することができる」など、ストーリーに関わる記述が〇割を占めた。また、「行動描写が独特で面白い」など、既習事項を活用した読み方をしている回答もあった。しかし、「主人公（原文ママ）がかっこいい」などの記述はあったものの、対役や脇役などを含む全ての登場人物について触れた回答はなく、これらに着目した読み方を実践している生徒は極めて少ないことが分かる。このことから、中心人物を含む全ての登場人物の人物像や言動、行動描写等の、作品の価値を大きく左右する微細な表現に着目して文学作品を読み解く活動が必要不可欠であると考える。

- 本単元の指導にあたっては、三つの単元を貫く「主題を定め、登場人物設定と構成を工夫した小説を執筆しなさい」という大きな学習課題を設定し、本単元では「登場人物を設定するためのヒントを『走れメロス』から見出し、自作小説の登場人物像を明確に定め、執筆を始めなさい。」という学習課題を提示する。前単元で作成した、自作小説を執筆するための「執筆計画書」にある登場人物設定の項目を見直すために、『走れメロス』から登場人物を設定するための視点を見出させたい。そのためにまず、自身が計画している「執筆計画書」を踏まえて、自作小説の登場人物案を作成させる。ここでは、複数の単元を貫く学習課題達成に向けた方略を明確にさせるために、デジタル版の単元学習シートに振り返りを記入させる。次に、登場人物を設定するためのヒントを『走れメロス』から見出させる。ここでは、『走れメロス』に登場する三人の脇役の存在意義について考えを広げさせるために、クラウド上で四人班による交流の場を設け、他班の意見と比較しながら考えを構築するよう促す。さらに、自作小説の登場人物像について、脇役を含めて再定義させる。最後に、「執筆計画書」に従って、小説の執筆を始めさせる。ここでは、より読者の存在を強く自覚させるために、自作小説を公開する国語科特設サイトの形式を閲覧させる。

## 3 目標

- 小説を読むための新たな視点を獲得し、自分の考えを広げたり深めたりするための読書に生かすことができる。
- 文学的文章において意図的に設定された登場人物の効果や、全体への影響を読み取ることができる。
- 『走れメロス』の登場人物設定の在り方から自身の執筆計画書を見直し、相手意識を明確にして表現を工夫し、自作小説を書こうとしている。

## 4 計画 (8時間)

知:知識・技能 思:思考・判断・表現 態:主体的に学習に取り組む態度

次	配時	学習活動・内容	手だて(○)研究に関する手だて(◎)	評価規準
一	1	1 自身が計画している「執筆計画書」を踏まえて、自作小説の登場人物案を作成する。 ・登場人物の設定方法	◎ 複数の単元を貫く学習課題(「自作小説を執筆しなさい」)達成に向けた方略を明確にさせるために、デジタル版の単元学習シートに振り返りを記入させる。【B6】	態:執筆計画書にある主題を引き立てる登場人物を設定しようとしている。
二	4	学習課題 登場人物を設定するためのヒントを『走れメロス』から見出し、自作小説の登場人物像を明確に定め、執筆を始めなさい。  2 登場人物を設定するためのヒントを『走れメロス』から見出す。 (1) 『走れメロス』を読み、登場人物を把握する。 ・ストーリーの概要 (2) 本文の描写を根拠に、メロスの人物像を明らかにする。 ・人物像の描写の工夫 (3) 本文の描写を根拠に、ディオニスの人物像を明らかにする。 ・物語の主題と、人物像の描写との関連性	◎ 常に本文の描写から忠実に解釈の根拠を求めさせるために、生徒の発言に応じて、クラウド上に保存された本文に教師が直接書き込み、毎時間更新していく。【A1】 ○ メロスの人間味あふれる性格に気付かせるために、「メロスは勇者か」と問う。 ○ デイオニスの人物像を明らかにさせるために、原典とされるシラー『人質』を例示し、その共通点を列挙する。	知:内容を踏まえて、全体の構成を捉えることができる。 思:メロスやディオニスの言動の意味を踏まえて、それぞれの人物像を明らかにすることができる。
	本時	(4) 脇役が作品に登場する意味を捉え、自作小説に登場させる脇役を設定する。 ・小説における優れた脇役の在り方	◎ 3人の脇役の存在意義について考えを広げさせるために、クラウド上で四人班による交流の場を設け、必要に応じて他班の意見と比較するよう促す。【C6】	思:脇役が『走れメロス』にもたらす影響を踏まえて、自作小説の脇役に明確な役割をもたせ、説明できる。
三	2	3 自作小説の登場人物像について、脇役を含めて再定義する。 (1) 「執筆計画書」にある登場人物像について、脇役を含めて全て見直す。 ・魅力的な登場人物像 (2) 級友と「執筆計画書」を交流し、読者の視点から互いに助言をする。 ・読者の視点	○ 脇役を登場させることによって、中心人物から引き出す発言を明確にさせるために、改めて作品の主題を問う。 ◎ 既習事項を踏まえて執筆計画書を書き直させるために、デジタル版の単元学習シートを参照させ、登場人物設定の在り方について問う。【B6】	思:登場人物の行動原理となる主題を明確にして「執筆計画書」にまとめることができる。
四	1	4 「執筆計画書」に従って、小説の執筆を始める。 ・魅力的な序文の書き方 ・人物描写の工夫	◎ 読者の存在をより強く自覚させるために、自作小説を公開する国語科特設サイトの形式を閲覧させる。【C4】	態:明確にした登場人物の人物像を生かして、序文を書こうとしている。

(1) 主 眼

○ 『走れメロス』に登場する脇役の存在意義について話し合い、自作小説の登場人物設定を見直す活動を通して、登場人物が作品の価値に影響を与えていることを捉えることができる。

(2) 準 備

①事前アンケート結果 ②本文データ ③意見交流シート ④執筆計画書 ⑤単元学習シート

(3) 過 程

学習活動・内容	準備	手だて (○) と研究に関わる手だて (◎) 評価 (◇)	形態	配時
<p>1 『走れメロス』における登場人物の重要度に関わるアンケート結果を分析する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中心人物と脇役の関係性</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>めあて 脇役たちの存在意義から、自作小説の登場人物設定を見直そう。</p> </div>	①	<p>◎ 脇役に着目する必要性を実感させるために、事前アンケートの結果を示し、脇役の存在意義について問う。</p> <p style="text-align: right;"><b>【B7】</b></p> <p>○ フィロストラトスが物語の進行そのものに影響を与えていないことに気付かせるために、「フィロストラトスはメロスの行動に影響を与えていたか」と問う。</p>	一斉	10
<p>2 3人の脇役の存在意義について話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・老爺、フィロストラトス、一人の少女がそれぞれ『走れメロス』にもたらす効果</li> </ul>	② ③	<p>◎ 前時までの本文への書き込みを生かした読解をさせるために、クラウド上に保存された本文を提示し、3人の脇役(老爺、フィロストラトス、一人の少女)が登場する場面を示す。</p> <p style="text-align: right;"><b>【A1】</b></p> <p>◎ 3人の脇役の存在意義について考えを広げさせるために、クラウド上で四人班による交流の場を設け、必要に応じて他班の意見と比較するよう促す。</p> <p style="text-align: right;"><b>【C6】</b></p>	個 ↓ 班 ↓ 一斉	20
<p>3 優れた脇役(名脇役)の在り方について、考えを交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小説における優れた脇役の在り方</li> </ul>		<p>◎ 優れた脇役の在り方について自身の考えを洗練させるために、クラウド上で互いの考えを交流する場面を設け、級友の意見を参照しながら必要に応じて修正するよう促す。</p> <p style="text-align: right;"><b>【C6】</b></p>	個 ↓ 一斉	10
<p>4 自作小説に登場させる脇役を改めて設定し、本時の学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・作者による登場人物の意図的な設定方法</li> </ul>	④ ⑤	<p>○ 生徒自身が設定している登場人物により明確な意図を反映させるために、「執筆計画書」にある登場人物の設定に情報を補足させたり、新たな脇役の設定を促したりする。</p> <p>◎ 本時の学習を学習課題達成につなげさせるために、クラウド上に蓄積している学習履歴(単元学習シート)を参照させ、本時で学んだことを上書きさせる。</p> <p style="text-align: right;"><b>【B6】</b></p> <p>◇ 脇役が『走れメロス』にもたらす影響を踏まえて、自作小説の脇役に明確な役割をもたせ、説明することができたか。&lt;執筆計画書分析・様相観察&gt;</p>	個	10